

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 1 月 19 日作成)

小委員会名	都市環境気候図標準化検討小委員会		主 査 名：清田誠良 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 都市環境・都市設備運営委員会		委員長名：佐土原 聡 主 査 名：村上公哉
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市環境気候図標準化の検討 (利活用方法・測定方法等) ・ 出版の検討 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：清田誠良 (広島工業大学)、幹事：田中貴宏 (広島大学)、委員：石田秀樹 (北海道東海大学)、渡辺浩文 (東北工業大学)、足永靖信 (建築研究所)、成田健一 (日本工業大学)、岩井一博 (信州大学)、芝池英樹 (京都工芸繊維大学)、鳴海大典 (大阪大学)、吉田篤正 (大阪府立大学)、宮崎ひろ志 (関西大学)、竹林英樹 (神戸大学)、依田浩敏 (近畿大学)、堤純一郎 (琉球大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	小委員会での議論を通して、標準化事項について明確化がなされた。しかし日本の都市はそれぞれ地域特性が異なるので、詳細事項の標準化は困難であるとの結論に至った。例えば、自治体の低炭素ガイドライン作成担当者も、具体的に何をしたいのか分からないと言っているため、事例集だけでも社会的貢献は大きい。本小委員会の特徴は、全国の都市の研究者が参加している点なので、これを活かし、今後は、都市別の事例集を作成し、それを出版につなげることにした。
委員会活動の問題点 ・ 課題	書籍刊行が遅れており、来年度設置の「都市環境気候図実用化検討小委員会」に引き継ぐこととなった。